

第3回 豊田市総合計画推進会議 要旨 令和8年2月13日（金）開催

参加者	
<p><有識者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定非営利活動法人 manma 代表理事 越智 未空 氏 ・ 株式会社 Will Lab 代表取締役 小安 美和 氏 ・ 武蔵大学学長 経済学部教授 高橋 徳行 氏 ・ 地方女子プロジェクト代表 山本 蓮 氏 	<p><ミライ実現戦略推進プロジェクト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辻 邦恵 本部長（豊田市副市長） ・ 野依 真人 副本部長（豊田市企画政策部専門監） ・ 小澤 都司子 こどもミライプロジェクトリーダー ・ 三浦 浩 産業ミライプロジェクトリーダー ・ 阿久津 正典 都市環境ミライプロジェクトリーダー ・ 伊藤 勝介 脱炭素ミライプロジェクトリーダー
発言要旨	
<p>テーマ：若者・女性が「働きやすい、働きたい」と思えるまちの実現に向けて</p> <p>【社会課題解決型企業（ローカルゼブラ）と地域の環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 起業支援は、地域で起業家をつくり上げる環境づくりから起業後の成長支援まで段階的に必要。 ・アントレプレナーシップは、旗振り役、伴走者、支援者といった地域の人材の多様性が必要。 ・女性が働きやすい職場環境を変えることも必要だが、生活そのものを楽しく充実させる視点も重要。 <p>【若者のキャリアを支える環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事以外の観点（家庭・余暇・学びなど）から「どう生きたいか」を考える機会が少ない。 ・若者は親の価値観の影響を受けやすいため、若者の価値観を広げるため、多面的に人生を考える機会や子育てと仕事を両立しながら働く人など多様なロールモデルに触れる場が必要。 ・「製造業のまち」というイメージから「ライフキャリアが実現できるまち」としてのリブランディングが重要。 <p>【業種、働き方など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性にとって魅力ある企業の誘致は一つの手段。豊田市の地場産業・既存企業の魅力向上も重要。 ・製造業中心の豊田市で自身のキャリアプランが描きづらいのではないかな。 ・「えるぼし認定」取得企業など、「様々な魅力的な地元企業がある」といった発信を強化すべき。 <p>【固定的性別役割分担意識（ジェンダー）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が地元を離れる理由に「やりたい仕事がない」「地域の女性としての役割が負担」「出産へのプレッシャー」などがある。 ・固定観念の緩和には、多世代交流が有効。 ・固定的性的役割分担を緩和するためには、その要因となっている地域・職場・自治会等の規約や運用を抽出し、改善することが必要。 	